

※()内は1人あたり額。

予算総額 **43億9,086万4千円** (560,059円)

経常収入 **39億9,199万7千円** (509,183円)

経常支出 **41億1,594万2千円** (524,993円)

差引額 **▲1億2,394万5千円** (▲15,810円)

経常収支差引額
▲1億2,394万5千円
(▲15,810円)

臨時的な収支を除いた単年度の実質的な財政状況を示す。

納付金は減少するも財政負担は依然重く

経常赤字

1億2,394万5千円

経常外収入 **3億9,886万7千円** (50,876円)

調整保険料収入 5,980万円
繰入金 2億8,205万9千円
国庫補助金収入 4千円
財政調整事業交付金 5,700万円
不用財産等売却代金 2千円
補助金等追加収入 2千円

その他 **1,899万7千円** (2,423円)

国庫負担金収入や利子収入など。

保険料収入 **39億7,300万円** (506,760円)

毎月の給料や賞与から納めていただく、健保組合の主たる財源。

予算基礎数値

被保険者数	7,840人
平均標準報酬月額	369,839円
保険料率	
事業主	52.25/1000
被保険者	35.75/1000
合計	88.00/1000



収入

支出

経常外支出 **2億7,492万2千円** (35,067円)

調整保険料還付金 2万円
宮繕費 1,510万円
財政調整事業拠出金 5,980万円
補助金等返還金支出他 2千円
予備費 2億円

その他 **482万2千円** (615円)

連合会費など。

保健事業費 **1億901万7千円** (13,905円)

みなさんの健康づくりに役立てていただくための事業を賄う費用。

保険料収入の
2.7%に相当

納付金 **17億6,370万円** (224,962円)

高齢者医療を支えるための財源として健保組合が負担しなければならない費用。

保険料収入の
44.4%に相当

保険給付費 **22億2,363万円** (283,626円)

みなさんが受けた医療や、出産、死亡、休業に対する給付を賄う費用。

保険料収入の
56.0%に相当

事務費 **1,477万3千円** (1,884円)

健保組合の事務費用。

平成27年度予算●介護保険

予算基礎数値

徴収対象第2号被保険者数	3,845人
平均標準報酬月額	417,188円
保険料率	
事業主	7.5/1000
被保険者	7.5/1000
合計	15.0/1000

介護保険料率を前年度より1.4/1000(労使折半)引き上げました。

収入

介護保険収入	3億8,700万円
雑収入	4千円
合計	3億8,700万4千円

支出

介護納付金	3億7,660万円
介護保険料還付金	100万円
積立金	940万4千円
合計	3億8,700万4千円

●予算のポイント●

被保険者数の増加等により増収

保険料収入は、保険料率を前年度と同率とし、保険料算出の基礎となる被保険者数や標準報酬月額などが前年度を上回る見込みから、前年度より1億1,700万円の増収となる見込みです。

保険給付費は前年度比1億円超の増加

保険給付費は、過去の実績等を勘案して被保険者1人あたりで前年度比1万1,971円の増加、総額で前年度比1億3,433万円の増加を見込んでいます。

前期高齢者納付金等が減少

納付金のうち、後期高齢者支援金は、健康保険組合に課せられる財政負担割合が引き上げられたことにより、前年度比5,000万円の増加となる見込みです。前期高齢者納付金は、2年前の1人当たりの医療費が減少したこと、概算払いたしが実績を上回っていたため、その差額が差し引かれることで、平成27年度は前年度より1億8,340万円減少する見込みです。また、退職者給付提出金も9,260万円の減少が見込まれることから、納付金全体では前年度より2億2,600万円の減少が見込まれます。

前年度に引き続き赤字予算

納付金が前年度より減少するものの、保険料に占める割合は44%に上り、健保財政において依然として重い負担となっています。実質的な財政状況を示す経常収支では1億2,394万5千円の赤字が生じる見込みで、不足分については積立金を取り崩して補う予定です。